理学部地学科・地球コース同窓会だより

地学科・地球コース同窓会会長　大木公彦（理学部・地学科 44 卒）

理学部は情報科学科、物理科学科、生命科学科、地球環境科学科の 4 学科がありますが、ここでは地球環境科学科の地学科・地球コース同窓会について紹介させていただきます。

まずは地学科・地球コース同窓会に至るまでの経緯を述べたいと思います。文理学部地学科時代は、ハンマーを供養する同窓会が開かれ、ハンマー祭と呼ばれていました。昭和 40（1965）年に理学部地学科がスタートして以降も、地学科ハンマー祭を引き継いで同窓生が集っていましたが、平成 3（1991）年に地学科同窓会が正式に発足し、地学科同窓会誌「桜島」が発刊されました。平成 9（1997）年に「地球環境科学科」へ移行した後も「地学科・地球コース同窓会」として活動を続け、今に至っております。ちなみに同窓会誌「桜島」は今年で 20 号になりました。

現在、平成 4 年に関東支部、平成 5 年には北部九州支部が設立され、現在では関西支部も加わって 3 つの支部が活動しております。平成 13（2001）年から同窓会総会を本部と支部の交互に行なうことになり、記念すべき平成 13 年総会は関東支部が担当して東京鉄鋼会館で行なわれました。その後、平成 15 年に北部九州支部、平成 17 年に関西支部が総会を担当しましたが、現在では支部での総会がなくなり、2 年に一度、鹿児島大学理学部で同窓会総会のみが行なわれ、少し寂しくなりました。しかし総会では、毎回 2 名の卒業生が講演を行ない、また地学科・地球コースの教員が退職された年には、その教員も講演を行なうことになっています。今年は総会の年にあたり、5 月 10 日（土）に 31 名の同窓生が全国から集い、旧地学科教員 4 名、現地学コース教員 4 名の先生達も参加し、懇親会も含めて久しぶりの再会を楽しみました（写真左）。

関東支部、関西支部、北部九州支部も毎年総会・懇親会を行なって頑張っているようです。関東支部は平成 26（2014）年に、新たに支部長になった日置光久氏（昭和 54 年卒）が、関東支部の永続のためにも若手会員の参加を促したいという趣旨の所信表明を行なったと聞きました。心強いかぎりです。写真右は、その時の懇親会の様子です。また、北部九州支部も毎年「ゆるーい飲み会」という名前で懇親会を開き、今年は 20 名の出席があったそうです。関東支部、北部九州支部の集まりでも、学年を超えた同窓生だけでなく、地学科・地球コースの旧教員である高木章雄先生、田中穣先生、富田克利先生が出席されたことを知りました。かつて講義をされた先生と講義を受講した学生が退職後、卒業後も親しく交流している姿に、同窓会を継続させることの大切さを痛感しています。

（写真左）

（写真右）

写真左：平成28年度地学科・地球コース同窓会総会後の懇親会集合写真
写真右：平成26年度地学科・地球コース同窓会関東支部総会後の懇親会集合写真